

KASAだより

vol.3

発行：舞鶴市財務部資産マネジメント推進課、企画・編集：福知山公立大学地域経営学部杉岡ゼミ

協力：特定非営利活動法人リデザインマネジメント研究所

KASAだよりとは、現在加佐で取り組んでいる「加佐地域公共施設まちづくりワークショップ」の様子をお伝えする広報誌です♪

1 全体説明&前回の振り返り

今回は地元の加佐中学校から生徒5名の参加があり、幅広い世代でのワークになりました。はじめに班ごとに今年の抱負をテーマにアイスブレイクを行い、次に全体進行役の近野成宏さん（特定非営利活動法人リデザインマネジメント研究所）より前回の振り返りと共に、今回、実施する施設見学の主旨と留意点等についての説明がありました。

【第3回ワークショップのテーマ・内容】

テーマ:やりたいことから考えるこれからの公共施設と地域

内容:未来へ向けて自分のやりたいこと・できることを考える+施設見学

2 ワークショップ&施設見学

(WSには市職員と福知山公立大学生も参加)



1.フリーマーケットやお祭りなどの「やりたいこと」と、それをやるには、どの「場所」が使えるかを付箋に書き出しました。



2. 次に、「小学校」を公共施設の一つのサンプルとして、建物の老朽化等の確認や、空間を体験するために、堤先生と杉岡先生の案内のもと施設見学を行いました。



3. 最後に、見学メモをもとに施設の良い点と改善点を分け、「やりたいこと」と使える「場所」とに結び付けて、各班でまとめました。

【第3回】

会場:由良川小学校

日時:2025年1月26日

参加者:49人

(うちWS参加者31人)



見学メモ

・体育館

→様々な提案が可能
→災害時に使われるため防災対策も必要

・図書館

→アットホームな雰囲気がある
→段差に注意する必要がある

堤先生

加佐中学校から5名の生徒が参加



完成した模造紙の詳細はこちらの二次元コードからご確認ください。

3 全体共有 & 講評

各班からでの意見共有後、堤洋樹さん（前橋工科大学准教授）と杉岡秀紀さん（福知山公立大学准教授）より講評がありました。「①実現可能性に囚われずに、楽しみながら自由に発想する②具体的な施設を考える③日頃からの発想の習慣が重要になる」ということを共有し、閉会しました。



【次回予定】「公共施設と地域資源の使い方を語る」

日時:2025年2月16日(日) 10:00~12:00

会場:加佐公民館

ワークショップの実施内容については、舞鶴市のホームページに掲載しています。詳しくは二次元コードよりご確認ください。また、参加者の募集も随時行っています。

[お問い合わせ 資産マネジメント推進課 0773-66-1045]

